

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111代
印刷所 旭 印 刷
電話(水俣)4101番
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津 奈 木



**町誌を読む会
「中尾教室」
“歩いて見る
歴史探訪”**

中尾地区での町誌を
読む会が発足して一年
がたち、皆さん熱心で
毎回楽しく学習を進め
ているが、中々思う様
にいかない。しかし今
回中尾公民館に朝九時
集合して歩いて見る歴
史探訪を試みた。

天気にも恵まれて気持
ちよいハイキングを兼
ねた歴史探訪になっ
た。岡松先生から説明
をうけて一同「カタン
ゴウ道。ぬすど道。か
こい道」を歩いた。一
町田の田神さんから、
山本加登志さん宅前の
樹齢百参拾年余の木せ
いや、福田辰義さん宅
庭の「ビシヤモンさん
と五輪の塔」を見て、
今迄知らなかった事柄
にふれて色々昔に思
いをはせた。

非常に気持ちよいハイ
キング気分、また歩
いて歴史探訪をやった
という気になりました。

一言

平均寿命八十才と言われ
着実に寿命が延びている今
日この頃である。自分自身
人生の折り返し点を過ぎる
と、やはり健康を考えるよ
うになった。そもそも健康
の条件とは、「病気をしな
い、仕事に喜びを持ち、家
庭に愛がないことである。
肉体、精神的にも社会的に
も安らかなることである」
と書いてある。

職場でもそれなりの地位
があり、期待されてミスの
許されない立場にある。常
にストレスと向い合わせの
毎日を送っている。毎年一
、二回は緊張感の高まりがあ
りストレスが溜まる時があ
る。精一杯やったのにうまく
出来ないことがある。こ
のような時、よく唱えるこ
とばがある。「どうにかな
るんだから、あわてないあ
わてない」と。頭で何回か
唱える内に気持ちが落ち着
くのである。

経験から信条的なものと
して、「元氣 のん気 根
気」の三つの気を頭に入れ
てきた。今日もあわてず
がんばろうと思う。

(M・H記)



庁舎美術館(77)

油彩
「作品」
一九六四
境野一之作

芳潤な香りに包まれた、甘く
とろけるような誘惑。
君に聞こえるだろうか?」あ
の天上の悪魔のささやきが...
無意識の奥底に広がる空間を
さまよい、自分自身の運命の輪

廻に迷い込む。もうどうしや
もない呪縛の渦の中で、快楽に
浸り、絶望の淵にたたされる。
そして、天の声を聞く。

平成10年度 町民体育祭日程表

町民体育祭5種目の日程が津奈木町体育協会
評議員会において下表のとおり決定しました。
(町民皆スポーツにご協力下さい)

大会名	期 日	会 場
男子ソフト ボール大会	5月17日	総合グラウンド
女子ミニバ レーボール大会		B & G 体育館
野 球 大 会	8月 ¹³ ₁₄ 日	総合グラウンド
競 舟 大 会	8月15日	干 拓 堤 防
陸上競技大会	10月10日	総合グラウンド

退任あいさつ

新緑の若葉が一段と華や
かさを増す季節となりました。
さて、この度の定期異動
によりまして、芦北教育事
務所勤務を命ぜられまし
た。

顧みますと、平成七年度
から三年間社会教育関係の
仕事を努めて参りました。
今までの学校教育と違い、
ゼロからのスタートでした
が、町民の皆様を支えられ
無事に終了することができ
ました。特に風ん子サーク
ルは、津奈木の子供達とふ
れあう機会を得、大変有意
義であり思い出深い活動と
なりました。今後益々、津
奈木町の社会教育の発展を
お祈り申し上げてお礼の挨拶
といたします。

さんかしませんか町民講座 キャッチフレーズ 手をつなぎ 学ぶ楽しさ 生かす喜び

今年も四月か
ら生涯学習「町
民講座」を開講
します。五年目
を迎える講座で
一部自主活動と
して出発して頂
く講座もありま
すが、どうぞ余
暇の楽しみとし
て是非参加下さ
い。申込は五月
末日まで受付し
ますので、教育
委員会文化セ
ンターへ申込み

お知らせ



平国民謡教室の皆さん

※講座名(パッチワーク
キルト・手話・英会話・郷
土史・陶芸・書道・民謡)
なお、絵画・コーラスの
講座も開講予定です。

平成十一年五月三日、
二三日まで水俣市・芦北郡
で県民体育大会が開催され
ます。本町では(銃剣道・
テニス・ゲートボール)の
三種目が開催。十一月は
「国民体育大会」が熊本県
で開催されます。津奈木では
デモンストレーションとし
て(ゲートボール大会)が
行なわれます。又、今年の
九月二七日には「市町村対
抗ゲートボール大会」、十
一月二日・三日は「火
の国全国ゲートボール大
会」が熊本国体リハール大
会として津奈木町で開催
されます。

自治公民館連絡協議会研修会

「モデル公民館実践発表及び同和教育」の実施

◎竹中地区モデル公民館

「温故知新」をスローガンにして竹中地区のスパラシ



温故知新の竹中地区長さん

イ発表がありました。地区にマッチし皆さん全員参加による創意工夫した跡がみえる一年間の歩みでした。鶴野区長さんを中心にした団結したその動きを、淡淡として報告された他の公民館長さん方に深い感銘を与え、自分の地区にも生かそうと話しておられました。

◎中尾地区モデル公民館

「地区の連帯と融和共同の心を育成する」というテーマで地区の全員での盛り上



連帯と融和の中尾地区長さん

されながら、よくその実をあげられた発表でした。地区民に愛され活動できる公民館として脱皮でき、心をついに進められた貴重なものでした。

続いて同和教育について研修を深めました。

部活の歴史Ⅱ（近代）の映画を見学。明治維新から戦後日本が歩み出すまでの歴史の中で、部落差別の実態とそれを解消しようとする動きをみつめ他の差別に思いをよせ、現在の状況をふまえて広く人権として進めることを学びました。



この作品を読んで、自身身の周りのこと、日常生活のこと、色んなことの中での「思いやり」と「真心」が浮かんできました。この作品を読んで、「こんな話はありません」とか「否定する人もいるけれど、そういう人達も、きつこの作品のでき事より、もつともつとあったかい

「思いやり」とも、つとうれし「真心」をもらう日があると思います。私が考える「思いやり」「真心」というのは、そういうことをしてあげられる人というのは、きつと自分もそういうことをしてもらったことがある人なんだと思います。つらくて、苦しんで、泣きたくて一人ではどうにもならないことがあった時、誰かが何も言わずにずっとそばにいてくれたり、頼んだわけじゃないけど自分が元気になるようにふるまってくれる、

読書感想文

「温かいスープ」を読んで

津奈木中3年 西 佳代子

そういうことをしてもらって、やつと自分も人にそういうことができるんじゃないかなと思えました。例えば、本当に大切にしている人がいたとしても、すごく大切に過ぎるのは本当の「思いやり」とは言えない気がします。大切だから嫌われたくないのは当然のことです。でも、「嫌われたくない」と思うことは、結局は自分のため、その人のためには全くないから。どんなに嫌われても嫌われるのはすごく怖いことだけど、本当に大切に思うなら自分が思う一杯の「真心」をその人にたくさんあげるの、その人のことを本当に大切にすることだと思っています。「思いやり」「真心」というのは耳にする分には易しい感じがするけど、時には誰かを傷つけたり、自分自身が傷つくことだってあると思います。もちろん、すごく誰かを喜ばせたり、うれしいことの方が多いかもしれないけれど、今から先も生きていく中で絶対に忘れちゃいけないと思います。

不思議な石と人間

西 川 一 清

その息こそ、地球の生命源となった。その酸素により、微生物が出現し小魚が、発酵生し、やがて大魚が群をなした。酸素の蒸発で大陸に、動物―緑が―余り余った酸素の上昇で、オゾンを創った。三時半に地球に大接近か？

地球衝突の可能性も否定出来ない、そんなショッキングなニュースが、飛び込んできた。然し翌日、可能性は0と発表三十年後だから対岸の火と失笑するかも知れない。勿論、人類には、

華道と茶道で

心にゆたかさを!!

伊藤 京子さん(61)

(浜崎)



ここに、こんな人が……

日頃から町の文化振興にご尽力を頂いています、お花やお茶の先生としてお馴染みの伊藤さんをお訪ねし、現在に至るまでや近況をお伺いしました。

「お勤めをされていましたし、娘時代のおけいこ事として、また、趣味のひとつとして始めました。今のよう

振り返って下さいました。そんな中、病弱のお母さまの介護で退職。そして、師事されていた西先生の津奈木教室を引き継がれることになったのが、先生の教室の始まりになったようです。

わが町の文化財・石造物(15)『赤崎日羅神社の狛犬』

体長85cm 高さ80cm 台座高110cm

昭和十年五月吉日

篠原順太 篠原正之

狛犬には耳の垂れた洋犬

の二つの獣形が見受けられ

る。狛犬とは、神社や寺院

の門前に置かれる獣形の像

でその起源は、ペルシャ、

インド地方にあるという。

中国では漢の時代から墓

や廟の前方に獅子の石彫が

置かれたが、六世紀以後、

日本にも渡来したものと思

われる。その異形な姿を犬

と思ひ、日本の犬とはちが

ったことから、高麗(こま

の犬(こまいぬ)となった

短歌

本郷武雄選

姑の蒸す切り干大根厨より甘き香りのただよいて来つ

福田八重子

養殖の枠より飛び立つかもの群れその一瞬に言葉うしなふ

柳迫いづも

山しうが色の赤きに驚きぬ冬の庭辺に色のたしき

白浜美和子

娘らがクラフ片手に苦勞せる型色出しの陶芸教室

沢田しずを

吾が知らぬ祖父植えたまふ紅梅は今年も咲きて庭を明るむ

西 滋子

末期ガンと知らざる兄は「来なくとも良かったのに」とやさしく笑ふ

寺本ツルヲ

水田は廃車置場に寝いてフロン

トガラスに照る月の影

野田 浦子

肥後狂句

やかまし 一回言えはわかつとに

知らんふり 挨拶したちやいばつとらす

やかまし ほとたつもりがセクハラちゅ

知らんふり バブルのつけの不良債

償 やかまし いつ時黙つとて呉

れ 知らぬふり 選挙ちや何てお言う

たか 知らぬふり 飯喰う時とまだまつ

やかまし 飲ませ食わせが効か

とれ 知らんふり 飲ませ食わせが効か

だった 入選句作むづかし

やかまし 好きな彼女によそむ

かれ 寅之助

「次笠」第六感 そうですか

「笠二句」つ六十月日まで

つなき文化センターへ



『老人パワー全開』いきいき大会開かれる!!

老人クラブ連合会が主催して去る三月二十四日にいきいき大会を文化センターで

行なわれ、三八〇名余の入場がありました。これは高齢者が健康で生きがいをも

って長寿社会の担い手として、あらゆる所で生き生きと生活し共に活動することを目指すとして実施しました。講演「健康と生甲斐のために」のあと各地区からのアトラクションも行いアイディア一杯の踊りや寸劇でさかんな喝采をうけ楽しいひと時でした。又会員お互いの一層の親睦を深めたと共に色々な活動の大きなエネルギーとなりました。今後は益々の高齢社会を迎え明るい充実した老人クラブを目ざして行きたいと思ひました。



（元村 博記）